

江戸七富士巡り報告(2022年07月01日(金))

今年の山行計画にある「江戸七富士」は、その内三座は正月と7月1日きり“開山”しないと云う。しかもその三座は「国指定重要有形民俗文化財」だ、これを見逃す訳にはいかない。それでこの日に合わせて出かけることにした。その内の「高松富士」は「新型コロナウイルス」のために開山しないことが分かった。参加は、伊藤、柳澤、陽田の三名となった。ところが、まあ6月27日に「梅雨明け」してしまったので、もう雨の心配でなく、暑さの心配をしなければならない事態となった。それで、駅から近い“国重民文”の「下谷富士」、「江古田富士」と「音羽富士」のみに限定することにした。

「下谷富士」は“10時開山”なので、9時50分に入谷駅で伊藤さんと待ち合わせて、入谷駅から約200mの「小野照崎神社」に向かう。この神社は小野篁、菅原道真を祀る学問の神様である。丁度夏祭りで大勢の人が押し掛けていた。境内には「夏越の大祓い」の茅の輪くぐりがあったので、早速「疫病退散」「新型コロナウイルス退散」を祈念して輪を三回くぐった。本堂脇の「下谷富士」では鳥居の前で法被を着た若い衆が案内をしてくれた。幸い、登っている人は渋滞するほど多くはなく、早速一合目の石柱のある入口から登山開始、登りと下りは別道の一方通行、5分で登頂から下山までしてしまった。お山は江戸時代の人達が荷車や背負って富士山から運んだ溶岩で造られている。これが「国指定重要有形民俗文化財」たる由縁だ。

「東京メトロ一日乗車券」を持っているので、少し遠回りだが入谷駅から、銀座で丸ノ内線に乗り換え池袋駅へ出る。更に西武池袋線で江古田駅へ向かい、ここで柳沢さんと合流した。今日の行程など打合せた後、11時半に出発。「茅原浅間神社」は駅のすぐ北側にあった。この「江古田富士」も7月1日の開山日きり登頂させてくれない。ここも部分的に交互通行になるので、世話役の人が付いていた。こちらは「下谷富士」ほど来ている人は多くなかった。やはり5分で登頂して、下山した。

池袋駅に戻り、有楽町線で護国寺駅で下車する。すぐ隣の護国寺の仁王門をくぐると、右手前方に富士塚の入口の鳥居があった。鳥居をくぐって、溶岩を組合せて作った“登山道”を登る。「一合目」「二合目」と石柱が立っていて、ここも道はあっちに行ったり、戻ったりで頂上へ向かう。約5分で下山し、本日三座目の登頂をはたした。ここは明治18年に現在地に移築されたとかで、“文化財”の指定はない。

12時40分池袋駅へ戻り、昼食の場所を探す。我々“ノンアルコール組”としては、ある程度ゆっくりできる処として、西口近くの「サイゼリア」に行くことにした。ところがそこへ行ってみると6月中旬に“閉店”していた。「お断り」の表示に「東京芸術劇場」の近くの店があるとのことで、そこに探して移動した。

「サイゼリア」は相変わらず若い世代が多く、8組ほど待つ人がいたが10分もかからずに席に着けた。この暑さの中で、無事三座登頂を祝って、“ノンアルコール”で乾杯。当方としては全員熱中症にならずに済んだことに感謝した次第である。柳沢さんから7~8月の街歩きの計画について訊かれたが、しばらくの間は無理でしょうとお答えするきりなかった。今は街歩きには暑いので、9月になれば彼岸花とかコスモス:レモンブライトなどを見に行くことができる。

いろいろ話が出たが、ここは“90分切り”なので、14時40分に店を出て、池袋駅で流れ解散となった。



下谷富士



江古田富士



音羽富士



音羽富士